

教科 科目 単位数	外国語 論理・表現 I 2	受信校	北海道穂別高等学校	学科 学年（年次） 履修・実施	普通科 第三学年 必修・一斉
教科書 副教材	「MY WAY Logic and Expression I New Edition」（三省堂） 「MY WAY Logic and Expression I New Edition ワークブック」（三省堂）				

1 目標

- (1) 外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けるようにする。
 - (2) コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりすることができる力を養う。
 - (3) 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。
- （高等学校学習指導要領（平成 30 年 3 月告示）より）

2 学習のポイント

- (1) オリエンテーション時に示す「授業のルール」を守り、積極的に言語活動に取り組んでください。
- (2) ワークシート等を多く配布します。配布物を整理するために、ファイル（A4サイズ）を必ず用意してください。
- (3) この科目では、主に「話すこと」、「書くこと」に関わる学習を行います。ペアやグループの活動では、自分の意見を積極的に述べるなど、恥ずかしがることなくコミュニケーションを図る努力をしてください。
- (4) 特に「話すこと」については、テーマに応じて即興で話す活動だけでなく、スピーチ、プレゼンテーション、ディベート、ディスカッションといった論理性を要する言語活動が多くなります。知識や表現の能力だけでなく、取り組みへの積極性も評価されますので、恥ずかしがらずにコミュニケーションを図る努力をしてください。

3 学習の評価

(1) 評価の観点とその趣旨

次の3つの観点に基づいて内容や時間のまとまりごとに「A・B・C」の3段階で評価を行い、学年末に5段階評定へと総括します。

①知識・技能	②思考・判断・表現	③主体的に学習に取り組む態度
・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどについて理解を深めている。 ・英語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの知識を、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身に付けている。	コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、日常的な話題や社会的な話題について、英語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝え合ったりしている。	英語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に英語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

(2) 評価方法と観点との関連（◎＝特に関連の深いもの）

	評価方法\観点	① ② ③			主な対象
		①	②	③	
ア	学習活動の観察・振り返り	○	○	◎	言語活動への取り組み・振り返りシート等
イ	ワークシート・テスト等	◎	◎	○	課題提出、小テスト、定期テスト等
ウ	パフォーマンステスト等	◎	◎	○	パフォーマンステスト
総括時の比率		1	1	1	

4 その他

<遠隔授業について>

- (1) 授業者は対面授業時を除き、基本的に配信校から授業をします。授業中の質問や疑問等については随時対応しますが、申し出にくい場合などについては、教室にいる受信担当の先生に申し出ても構いません。
- (2) 授業者が現地にいない分、皆さんの積極的な活動がより一層重要になります。メリハリをもって活動したり、わからないところを互いに教え合ったりすることは特に重要です。ぜひ、一緒に授業を「作っていく」つもりで参加してください。
- (3) 遠隔授業のため、音声の遅れや乱れが予想されます。これらの不都合を常に意識して柔軟に対応してください。
- (4) 遠隔授業では、Google Classroomなどのクラウドサービスを活用します。利用におけるルールを遵守してください。

(5) その他の遠隔授業の特性についてはオリエンテーション時に説明します。

<学習の支援について>

授業について、不安なことや気になること、配慮して欲しいことなどがあれば、可能な範囲で個別対応します。直接相談しにくい場合は、Classroom やワークシートに書いてもらっても構いません。

5 年間授業計画 (計 60 時間)

月	○題材 ●主な教材	配当 (時)	【学習領域】 ・主な学習内容 □対面授業 ◇テスト等	目標・ねらい	観点ごとの 主な評価の対象 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度
4 / 5 / 6	○オリエンテーション	1	・論理・表現 I の学習について	・アンケートへの回答を通し、これまでの英語の学習を振り返り、論理・表現 I の学習についての見直しをもつ。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○自己紹介をしてみよう ●Lesson 1	6	【やり取り/発表】 ・現在形 (be 動詞/一般動詞)	・初対面のあいさつをすることができる。 ・自己紹介のスピーチをすることができる。	
	○学校のことを伝え合おう ●Lesson 2	6	【やり取り/書く】 ・過去形 (be 動詞/一般動詞) ・現在進行形/過去進行形 <u>□対面授業①</u> <u>◇パフォーマンステスト</u>	・好きだった教科について会話をすることができる。 ・部活動を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
	○アートのおもしろさを伝えよう ●Lesson 3	6	【やり取り/発表】 ・未来表現 ・基本時制 (現在形/過去形/未来表現) のまとめ	・週末の予定について会話をすることができる。 ・好きな絵について発表することができる。	
	前期中間考査	1	<u>◇考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
7 / 8 / 9	○料理や食文化について学ぼう ●Lesson 4	6	【やり取り/書く】 ・現在完了形① (完了/経験) ・現在完了形② (継続)/現在完了進行形	・料理をするときの会話をすることができる。 ・日本の食文化を紹介するレポートを書くことができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価(振り返りシートなどの記述内容)
	○町の魅力を伝えよう ●Lesson 5	5	【やり取り/発表】 ・助動詞 (can/may/must/have to/should) ・受動態	・道案内の会話をすることができる。 ・地域の特徴やマスコットキャラクターについて発表することができる。	
	前期期末考査	1	<u>◇考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
10 / 11	○旅先で使う英語を学ぼう ●Lesson 6	5	【やり取り/書く】 ・不定詞① (名詞的用法/形容詞的用法) ・不定詞② (副詞的用法/原形不定詞)	・買い物の会話をすることができる。 ・旅行先から友達へメッセージを送ることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果

令和8年度 遠隔授業配信シラバス

	○スポーツの魅力を伝えよう ●Lesson 7	5	【やり取り・発表】 ・動名詞 ・分詞による後置修飾/分詞構文	・スポーツの試合について会話をすることができる。 ・車いす競技を紹介する発表をすることができる。	③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○未来の技術を想像しよう ●Lesson 8	6	【やり取り・書く】 ・比較①（比較級） ・比較②（最上級/同等比較） □ <u>対面授業②</u> ◇ <u>パフォーマンステスト</u>	・最新の製品について会話をすることができる。 ・AIを使った未来の技術を紹介する記事の原稿を書くことができる。	
	後期中間考査	1	◇ <u>考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	
12 / 1	○健康の表現を身につけよう ●Lesson 9	5	【やり取り・発表】 ・関係代名詞①（ who/which/that 【主格・目的格】） ・関係代名詞②（目的格の省略 /whose/what）	・病院での会話をすることができる。 ・健康について発表をすることができる。	①ペーパーテスト等の結果 ②パフォーマンステスト及び活動の観察の結果 ③自己評価（振り返りシートなどの記述内容）
	○科学で実現できる夢を語り合おう ●Lesson 10	5	【やり取り/発表】 ・関係副詞 ・仮定法	・先端科学技術について会話をすることができる。 ・先端科学技術を紹介する発表をすることができる。	
	学年末考査	1	◇ <u>考査</u>	・学習内容の定着状況を確認する。	